

妊娠中の母子感染予防

母子感染ってご存知でしょうか？妊娠中にお母さんが罹った病気の影響でお腹の赤ちゃんに問題が起こることをいいます。妊娠中の食事や薬に気をつかうのと同じくらい母子感染予防も大切です。今月は母子感染予防の話。

母子感染で問題になる病気は頭文字をとって **TORCH**（トーチ、T トキソプラズマ、O 梅毒など、R 風疹、C サイトメガロ、H ヘルペス）と呼ばれます。梅毒は性行為感染なので原因は明らか、風疹は予防接種で防げます。今一番問題になっているのはサイトメガロウイルスとトキソプラズマ原虫。

サイトメガロ、実はありふれたウイルスです。7割程度の方は既に感染が終わっていて問題にならないのですが、残り3割の方が妊娠中に初感染をおこすと、赤ちゃんに難聴や発達の遅れなどの障害がみられるときがあります。感染源は小さな子供の唾液と尿です。サイトメガロは乳幼児期に感染することが多く、感染した乳幼児の唾液や尿にはウイルスが存在しており、お母さんへの感染源となります。お子さんを抱っこしたり、一緒におもちゃで遊んだ後には必ず手を洗って下さい。

次にトキソプラズマ、ネコのお腹の中にいて、便中に卵が排泄されます。猫の糞に汚染された砂場は感染源になります。また汚染された砂や土に触れ感染した鳥や豚、牛などの筋肉の中にはトキソプラズマが潜んでいます。妊娠中加熱不十分の肉類は厳禁、子供と一緒に砂場遊びも控えましょう。

妊婦さんは産科でサイトメガロやトキソプラズマに罹ったことがあるか検査が行われます。もし、罹ったことがなければ上記内容に気をつけて生活しましょう。特に子供との接点が多くなる二人目以降の妊娠中は要注意です。